

全国森林計画の策定の概要

平成25年10月
林 野 庁

1. 全国森林計画の趣旨

- 全国森林計画は、森林法の規定に基づき、農林水産大臣が、5年ごとに15年を1期としてたてる計画（平成26年4月1日から平成41年3月31日の15年間）。
- 都道府県知事がたてる「地域森林計画」等の指針として、森林の整備及び保全の目標、伐採立木材積や造林面積等の計画量、施業の基準等を示すもの。

2. 計画の概要

- 現行計画の変更（平成23年）以降の状況の変化（国有林野事業の一般会計移行等）や今後より重視していくべき事項（国土強靱化等）を踏まえた記述を追加。
- 森林の整備及び保全の目標、計画量については、森林・林業基本計画に示されている目標等の考え方に即し、新たな計画期間に見合う量を計上。

【森林の整備及び保全の目標】

区 分		現 況	計画期末
森林面積（千ha）	育成単層林	10,285	10,060
	育成複層林	1,009	1,759
	天然生林	13,788	13,263

注） 現況は平成24年3月31日、計画期末は平成41年3月31日の数値

【計画量】

区 分		計 画 量
伐採立木材積（万m ³ ）	主伐	36,184
	間伐	43,777
	総数	79,961
造林面積（千ha）	人工造林	944
	天然更新	889
林道開設量（千km）		89.9
保安林面積（千ha）		12,951.7
間伐面積（参考）（千ha）		7,281

注） 計画期間（平成26年4月1日～平成41年3月31日）の総量